

あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第493号 発行日 平成30年12月28日



クリスマス会特集



1-A病棟

保育士

1-A病棟では12月21日(金)にクリスマス会を開催しました。コンサートでは、宮野下子竜さんによるマリンバ演奏を楽しみました。曲目は『ソリスベリ』や『アメージング・グレース』、『喜びの歌』など、クリスマスにちなんだ名曲ばかり。プログラムの最後の『きよしこの夜』では、皆さんでトーンチャイムの合奏と合唱を楽しみました。静かな曲の演奏でしたが、温かい熱気も感じる演奏となりました。演奏は予定の30分を超える熱演で、生演奏の醍醐味をたっぷり楽しむことができました。



そして演奏の後はサンタさんも駆けつけ、皆さんにゲームや本のクリスマスプレゼント。ご家族、他病棟の皆さんを合わせると43名が参加され、1年を締めくくるにふさわしい素敵な時間を過ごすことができました。

1-B病棟

保育士

1-B病棟のクリスマス会は12月19日(水)に行いました。始めに、職員がトーンチャイムとハンドベルでクリスマスソングの演奏をしました。練習時間は短かったのですが、本番は大成功でした。今年は指導科の「おーいおーいグループ」でお世話になっている高原真人さんのグラビノーバの演奏に合わせての合唱です。曲目は利用者の方のリクエストを聞き、昭和の歌や童謡、TV主題歌など、みんなが口ずさめる曲ばかり。歌声喫茶のようにご家族の方も一緒に盛り上がりました。平成の最後のクリスマス会。楽しいひとときを過ごすことができました。



2-A病棟

紺野 あけみ

12月7日(金)にクリスマス会を実施しました。今年は、「どろんこ座」の方々を招いて、3D紙芝居を楽しみました。紙芝居は、『フクロウおじいさんの庭』と『カバのトナカイ』の2つのお話でした。どちらも動物たちが主役のほのぼのとした内容で、真剣に耳を傾ける利用者の様子が見られました。最後にギターによるクリスマスソングをみんなで歌い、クリスマスの雰囲気を感じながら心温まるひと時を過ごす事が出来ました。

また、今話題の『チョコちゃんに叱られる!』という番組のチョコちゃんに扮した男性職員の登場に、笑いあり戸惑いありで盛り上がりました。御家族や他病棟の参加もあり、賑やかで楽しいクリスマス会になりました。



2-B病棟

藤野 高子



12月17日(月)「あわてんぼうのサンタクロース」ならぬ「あわてんぼうの職員一同」より利用者に一週間早いクリスマスプレゼントとして、センターでお馴染みのマリンバ奏者の宮野下子竜氏をお招きしてクリスマスコンサートを開催しました。クリスマスソングや耳慣れた曲の演奏に加え、子竜氏の軽快なトークと圧巻のパフォーマンスに、「すごいね。よかったね。」と、全員がハートを射抜かれてしまいました。演奏終了後、利用者の〇様が子竜氏にお礼のプレゼントを渡しながらか、「ありがとうございました。又来てね。」と一生懸命に笑顔で気持ちを伝える姿に、一同感動し、会は幕を閉じました。心に残る贅沢な一時を過ごせ、幸せな気持ちになれた最高の一日でした。

3-1病棟

早田 知恵

12月13日(木)の3-1病棟のクリスマス会は、二部構成で行われました。第一部では、二組のグループによるピアノ演奏会が開かれました。一組目は、「あやや&あつまん」によるピアノ演奏です。二人の連弾は、息もぴったりで、ピアノに真剣に向き合う表情は会場の人々に感動を与えました。二組目は、フランス語で素敵な意味を持つ「Jeu Du Loup」の登場です。ヴォーカルのテノール歌手の方とピアノ演奏の方の二人組ユニットで、堂々と歌い上げられるカンツォーネの迫力に圧倒された13曲でした。

第二部は、病棟スタッフによるYMCAダンスとクリスマスクイズ大会、利用者4名によるハンドベル演奏の『きよしこの夜』と「Jeu Du Loup」による『赤鼻のトナカイ』でした。がらりと雰囲気が変わり大いに盛り上がりました。途中でサンタクロースの寺川先生も登場し素敵なクリスマス会となりました。



3-2病棟

柴 江理子

12月18日(火)に、音楽ボランティアの「音種♪」を招待して、クリスマス会を開催しました。



音楽コンサートでは、『クリスマスソング』や『翼を下さい』、『上を向いて歩こう』等の親しみのある歌や、ピアノやサックスのソロ演奏が披露されました。「音種♪」のメンバーが移動しながら、利用者の近くで演奏してくれたので、音楽にふれ合うことができ、利用者も御家族や職員と一緒に鈴やタンバリンをリズムに合わせて鳴らす等、とても楽しんでいる様子でした。今回のクリスマス会では、たくさんの御家族や他病棟の方が参加していただき、とても賑やかな会になりました。

4-1病棟

渡部 亜希子

12月12日(水)に、4-1病棟の「森の音楽家」たちによるクリスマスコンサートが行われました。『たき火』をクリスマス風にアレンジした曲から始まり、クラシック、クリスマスソングの演奏が披露されました。利用者もじっと耳を傾けたり、鈴やタンバリンを鳴らしたりと一緒に演奏を楽しみました。ご家族や他病棟の利用者の参加も多数みられ、みんなでぎやかなクリスマス会を楽しむことができました。関東北部で初雪の便りがあった寒い日でしたが、みんなでクリスマス会を楽しみ、心温まる時間を過ごすことができました。



4-2病棟

石橋 まり菜

今年の4-2病棟の誕生会&クリスマス会は「多摩スイング」さんを招待し開催しました。「多摩スイング」さんの歌と演奏とともにみんなでバースデイソングを歌い、誕生者のお祝いをしました。コンサートでは、ピアノとヴィブラフォンで奏でるジャズ調のクリスマスソングや童謡に、利用者やご家族は鈴やマラカスを鳴らしながら、うっとり聴き入っていました。知っている曲になると声を出して喜ぶ利用者の姿もみられました。『ジングルベル』のハンドベル演奏では、音をくじ引きで決め、当たったご家族や職員は真剣に楽譜を見ながらベルを鳴らしていました。本番では、「多摩スイング」さんの伴奏に合わせた息ぴったりの見事な演奏に、みんなで拍手をして喜び大いに盛り上がりました。副看護師長のソロのギター演奏や田沼医師の手品など盛りだくさんの内容で、大勢のご家族と他病棟の参加でにぎやかなクリスマス会となりました。



5-A病棟

上野 聡子



今年の5-A病棟のクリスマス会は、保育士による手作りクリスマス会を行いました。9月頃から、保育活動の中で歌や楽器演奏を行っている保育士を集めクリスマス会をやりたいと計画してきました。ピアノやウクレレ、ギターの演奏や手話を使った合唱、ピアノの連弾とたくさんのプログラムを披露することができました。クリスマス会は、他病棟や他科の職員に協力してもらい大成功でした。ご家族の参加も多く、「身近で暖かいクリスマス会をありがとう。」と言っていたきとてもうれしかったです。これからは、保育活動にピアノやウクレレ、ギターなどの演奏を積極的に取り入れ、他病棟との合同活動にも参加していきたいと思えます。

5-B病棟

保育士

12月14日(金)にクリスマス会を行いました。ご家族15名も参加してくださり、一緒に楽しみました。今回はピアノコンサートで、国際コンクール入賞歴があり、府中市でむさしピアノ教室を主宰されているリャン・ソフアさんがクリスマス曲、バッハの曲、有名なショパンの『革命のエチュード』などを弾いてくださいました。素早く手を交差させながら弾く様子にみんな見入っていました。全員がコンサートホールにいるような気分になりました。



イルミネーションを見るなら2-A病棟へ！

池田 優子

2-A病棟では、利用者の皆さんに心地良い、癒しの空間を提供するため、昨年よりベランダの環境整備を行い、冬にはベランダにクリスマスイルミネーションの飾り付けをしています。

今冬もベランダには、2匹のトナカイとクリスマスツリー、色とりどりの光玉を飾り、室内には、四方の壁周囲にイルミネーションを装飾して、ファンタジックな世界を創り出しました。陽が傾きかける時間にイルミネーションを点滅させると、窓にはベランダのライトと室内のライトが重なり合い、魅惑的な輝きが体験できます。さらに、利用者がベランダのイルミネーションの明滅を眺めている姿が窓に写り込み、利用者も職員もこの幻想的な世界を楽しんでいます。



他病棟の利用者さんも是非、2-A病棟にお立ち寄りください。一緒にほっこりしたひと時を過ごしていただければと思います。お正月やバレンタインにもイルミネーションの装飾を予定しています。どうぞご期待ください。

通所

金内 淳

12月20日(木)、通所クリスマス会を行いました。平成最後の通所クリスマス会のテーマは「HEY! SEY! Last-Christmas～夢と魔法をあなたに～南の島からの贈り物」ということで、会場の装飾もトロピカルに彩られました。そしてもう一つのテーマの「夢と魔法」と言えば…そうです、利用者の皆様にもファンの多い「ディズニー」です。

恒例の職員出し物は、「ディズニーキャラクターたちが振り返る平成の〇〇」です。一組目は「アナと雪の女王」のオラフが振り返る平成30年史。懐かしの「きんさんぎんさん」から「そだね～ジャパン」まで。平成を代表するあの人が登場しました。二組目は「リロ&スティッチ」と「三匹のこぶた」の狼が登場。「平成の食べ物な～んだ」クイズを行いました。ティラミス、カルピスウォーター、などなど…発売されたのは昭和?平成?悩ましい問題が出題されました。三組目は「平成のミリオンヒット!」。「トイストーリー」のリトルグリーンメンがDJとなり、平成のニュース映像をバックに、だれもが知っているミリオンヒットが流れます。「SAY YES」「君がいるだけで」「だんご三兄弟」…歌に合わせてドラマ名場面の再現あり、ダンスありでした。最後は「世界の一つだけの花」をバックに、ミッキーたち手作りの「お花」が利用者にプレゼントされました。ミッキーたちと笑顔で写真を撮る皆様。まさにディズニーランドが府中にやってきた!という感じでした。

招待観劇は「PAN NOTE MAGIC」さんによるスティールパンとマリンバの演奏です。スティールパンはドラム缶を加工して出来た打楽器です。その音色は南国の雰囲気そのもの。おなじみのクリスマスソングやディズニーミュージックをたくさん演奏してくれました。

さていよいよサンタクロースの登場です。今回は短パンにアロハシャツ姿!そしてなんとサーフボードに乗りながらの登場でした。今年も利用者の皆様にプレゼントを贈ってくれました。

平成最後の通所クリスマス会、懐かしさがいっぱい詰まったひと時だったのではないのでしょうか。来年も利用者と一緒に楽しめるような会を作っていきたいと思います。ありがとうございました。



クリスマス行事食の紹介



今年のクリスマスは、チョコレートケーキといちごプリンがおやつとして提供されました。いちごプリンは、いちご味のプリンにホワイトクリームをのせ、いちごのソースがかかっています。また、パッケージがクリスマスのイラストになっており、視覚的にもクリスマスの雰囲気を感じるおやつとなっていました。

行事食は、ほうれん草入りの鶏肉の真薯を三角形に切って盛付け、クリスマスツリーに見立てました。

また、クリスマスツリーの上に、雪に見立てたホワイトソースをかけ、星形に切ったやわらかいにんじんを飾ることによって、クリスマスの雰囲気を演出しました。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>